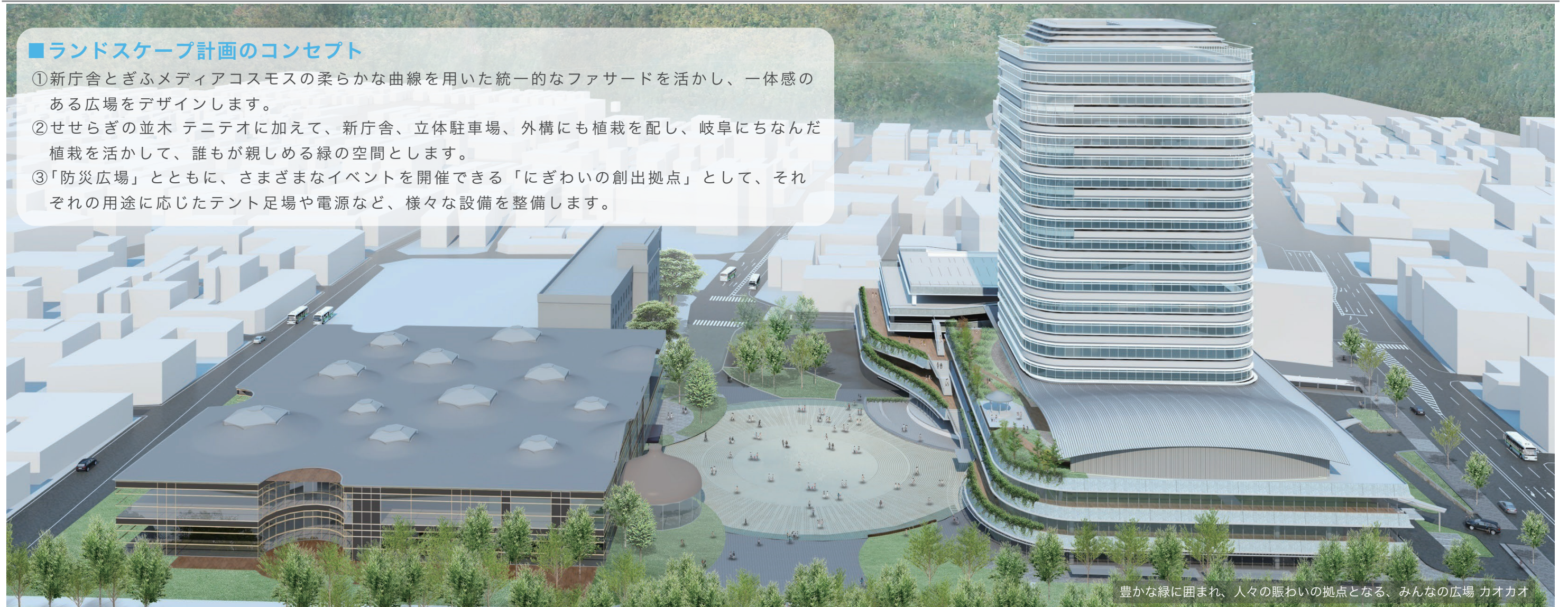


■ランドスケープ計画のコンセプト

- ①新庁舎とぎふメディアコスモスの柔らかな曲線を用いた統一的なファサードを活かし、一体感のある広場をデザインします。
- ②せせらぎの並木 テニテオに加えて、新庁舎、立体駐車場、外構にも植栽を配し、岐阜にちなんだ植栽を活かして、誰もが親しめる緑の空間とします。
- ③「防災広場」とともに、さまざまなイベントを開催できる「にぎわいの創出拠点」として、それぞれの用途に応じたテント足場や電源など、様々な設備を整備します。



豊かな緑に囲まれ、人々の賑わいの拠点となる、みんなの広場 カオカオ

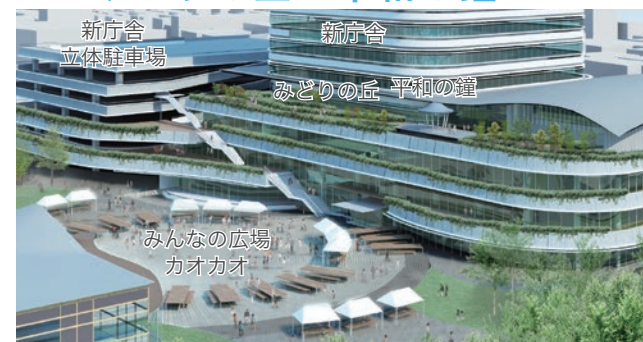
■ みんなの広場 カオカオ



「みんなの広場 カオカオ」は、建設地南側の隣接民有地等の取得により東西115m、南北65mと、当初計画の1.7倍の広さに拡張し、様々なイベントの開催が可能となります。

また、現在の「みんなの森 ぎふメディアコスモス」南側のインターロッキングやミスト噴水は、敷地内で活用を図ります。

■ みどりの丘と平和の鐘



新庁舎低層部の北側には、「みんなの広場 カオカオ」に向けて段々状のテラスを設置し、親しみやすい空間となるよう緑化を施します。

また、庁舎4階には、「みどりの丘」として、岐阜や金華山にちなんだ植栽を配し、憩いの場として、来庁者に開放します。

このみどりの丘には、つかさのまちに、時を知らせるとともに、この地から恒久の平和を願うメッセージを発信し新庁舎のシンボルとなる「平和の鐘」を設けます。

